

平成30年度 看護部教育計画 新人研修

【レベルⅠ(新人研修)】

	研修名	時期	時間	目的	目標	方法
レベルⅠ	移動の技術	4月4日(水)	2H	移動に関する基礎的な援助技術を基に、精神疾患患者の特徴を踏まえた援助技術を理解する	1. ボディメカニクスを活用した移動介助(体位変換、車椅子移動)の流れが理解できる 2. 精神疾患患者の心身の特徴を踏まえた移動介助を理解できる 3. 移動介助の注意点がわかる	寝たきりの患者の事例を用いて ①デモンストレーション ②演習
	安全管理	4月4日(水)	1.5H	精神疾患患者の特徴を知り、暴力防止の基本的な知識と技術を学ぶ	1. 精神疾患患者の症状と暴力発生について理解する 2. 暴力のリスク評価の方法を知る 3. 暴力のサイクルと防止のための対処を知る	・講義 ・演習
	与薬	4月17日(火)	1H	与薬に関して与薬者の責任を理解し、安全に与える薬を実施していくことの必要性を理解する	1. 与薬者の責任について理解できる 2. 看護手順に基づいた与薬の流れがわかる 3. 与薬における6Rの遵守と必要性がわかる 4. 精神疾患患者の心身の特徴を踏まえ与薬時におこりやすいインシデントがわかる	・講義 ・演習
	採血の技術	4月23日(月)	2H	採血に関する基礎的な援助技術を基に、精神疾患患者の特徴を踏まえた援助技術を理解する	1. 看護手順に沿った採血の流れを理解できる 2. 採血時におこりやすい当院でのインシデントがわかる	翼状針、真空採血管を用いた採血 ①デモンストレーション ②演習
	夜勤の心構え	5月7日(月)	1H	夜勤のイメージができ、心身の準備ができる	1. 夜勤帯の看護体制を理解し、報告連絡相談の方法がわかる 2. 夜間の安全安楽を促す援助について理解できる 3. 巡視の目的、方法がわかる 3. 夜勤に向けて心身を整えることの必要性がわかる	・事前課題 夜勤前に心がけている事、気を付けている事についての情報収集 ・ラウンドシミュレーション ・グループワーク
	リフレッシュ研修	5月29日(火)	8H	新採用者相互の交流を通して、心身のリフレッシュを図る	1. 新採用者と交流できる 2. 仕事をしていく中での同期とのつながりの大切さについて再確認できる 3. 新採用者相互の悩みや努力を共有できる	・近鉄郡山駅周辺の散策(金魚が泳ぐ城下町の散策) ※6月のホスピタリティー研修に向けて、外来展示物のテーマと作成方法についての検討
	ホスピタリティー研修	6月29日(金)	2H	当院のおもてなしやより良い療養環境について考えることができる	1. 閉鎖的な環境で過ごす患者への憩いの時間について考える事ができる 2. 季節を感じる創作物を作成できる 3. 同期での仲間づくり	・外来展示物の共同作成
	医療安全研修(KYT)	9月14日(金)	2H	看護場面のリスク感性を磨く	1. 安全なケアの提供は看護師の責任であることを再認識できる 2. 看護場面に潜む危険に気付くことができる 3. リスク感性を持てるよう普段から注意するための行動目標を言葉にできる	・事前課題 普段の病棟における看護の危険について ・グループワーク ・講義(医療安全係長)
	倫理研修	10月12日(金)	2H	看護実践における倫理的問題に気づき、相談できる	1. 患者や家族の気持ちを考えることができる 2. 看護師の責任について再認識できる 3. 倫理的問題解決に向けて、自己の課題を明確にすることができる	・事例検討
	院内留学	1月	1日	自部署以外の政策医療分野の看護を体験し、他専門分野の知識技術を学ぶ	1. 他病棟の患者の特徴を知ることができる 2. 他病棟の看護の特徴を知ることができる	・院内留学
	1年のまとめ	2月1日(金)	2H	看護場面の振り返りを通して、1年間の成長を認め、2年目にむけての課題を明らかにする	1. 看護実践場面を振り返り、現時点での看護の考え方を明らかにすることができる 2. 1年の自分自身の成長を振り返ることができる 3. 成長できた背景について考えることができる	・発表 患者への看護実践場面を振り返る ・グループワーク
	認知症	4月23日(月)	1H	当院の主な疾患について理解する	当院の主な認知症(アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症脳血管性認知症)の病態、診断、治療	・講義
	重症心身障害	4月24日(月)	1H	当院の主な疾患について理解する	当院の重症心身障害児者(動く重心、強度行動障害)の病態、診断、治療	・講義
	精神疾患	4月23日(月)	1H	当院の主な疾患について理解する	当院の主な精神疾患(統合失調症、気分障害)の病態、診断、治療	・講義
当院の司法精神医療の現状	4月24日(月)	1H	当院の主な疾患について理解する	当院の司法精神医療の現状	・講義	

【共通研修:看護技術研修】

	テーマ	時期	時間	目的	目標	課題
看護技術	BLS	6月18日(月)	2H	BLSの基本的な技術を修得する	1.意識レベルの確認、気道確保、絶え間ない心臓マッサージが正しい技術で出来る 2.アンビューバックでの呼吸確保が正しい技術で出来る	【事前】夜勤勤務時に意識障害者発見時の対応についてのレポート 【事後】病棟でBLSの技術演習の
	移動技術	7月20日(金)	2H	精神疾患あるいは重症心身障害を持つ患者に対し、疾患に伴う症状を理解し、適切な移動技術を実践することができる	1.疾患の特性から適切な援助方法を考える事ができる 2.対象に応じた移動の方法を考える事ができる 3.事例を通して適切な移動の方法を理解し実践する	【事前】看護場面における移動と困った場面をレポート 【事後】病棟で移動技術演習の実施
	摂食嚥下・口腔ケア	9月28日(金)	2H	摂食・嚥下のメカニズムを知り、口腔ケアの知識と技術を学ぶ	1.摂食・嚥下のメカニズムがわかる 2.嚥下状態ごとのアセスメントができる 3.口腔ケアの意義がわかる 4.口腔ケアの方法がわかる	【事前】摂食・嚥下と口腔ケア場面で困ったことのレポート 【事後】口腔ケアに問題のある患者への実践を行いレポート
	褥瘡ケア	10月26日(金)	2H	褥瘡のアセスメントができ、予防対策を講じることができる	1.褥瘡の発生機序を理解できる 2.褥瘡のステージごとのケアの方法がわかる 3.褥瘡予防方法がわかる	【事前】当院の褥瘡予防における診療報酬上の手順の確認 【事後】病棟での褥瘡予防対策の現状の把握及び問題点の明確
	看護過程の展開	11月19日(月)	2H	患者の個別性を重視した看護過程について理解できる	1.看護過程のプロセスがわかる 2.オレムアンダーウツのセルフケアモデルの理論に基づいての情報収集とアセスメントの方法がわかる 3.オレムアンダーウツのセルフケアモデルの理論に基づいての看護計画の立案の方法がわかる	【事前】オレムにそったデータベースの整理 【事後】受講内容の伝達
	コミュニケーション	12月14日(金)	2H	精神科特有の症状を有する患者へのコミュニケーション方法を理解する	1.プロセスレコードの意義がわかる 2.プロセスレコードの作成の流れがわかる 3.プロセスレコードから看護場面における感情の動きに気づくことができる	【事前】プロセスレコード作成 【事後】プロセスレコード作成
	地域連携	1月30日(水)	2H	1.地域の保健医療福祉サービスを理解し退院支援のイメージが持てる	1.地域の保健医療福祉サービスを理解できる 2.事例を通し、患者に必要な退院支援・継続看護について検討できる	【事前】保健医療福祉サービスをどの程度退院支援に置いて病棟で活用しているが現状把握 【事後】保健医療福祉サービスを活用して事例報告
薬物療法	2月8日(金)	2H	精神科の治療の特徴を理解し、薬物療法について学び、安全な薬剤投与に役立てる	1.薬物療法について作用・副作用が理解できる	【事前】当院で使用している薬剤について学習 【事後】事例内容を病棟で実施し報告	

【共通研修:政策医療研修】

研修	テーマ	時期	時間	目的	目標
政策医療研修	精神一般①	5月25日(金)	2H	1.精神科医療の歴史を踏まえ、今後の動向を理解する 2.当院の主な精神疾患の病態、治療を理解する 3.主な精神疾患の看護の基	1.精神福祉の関連法規の変遷とその根拠を踏まえて、精神医療の歴史を理解する 2.統合失調症、気分障害の病態生理と主な治療を理解する 3.統合失調症患者、気分障害患者の特徴と看護の基本を理解する
	精神一般②(観察法)	9月27日(木)	2H	1.医療観察法の概要と当院の司法精神医療の実態を知る 2.医療観察法病棟での医療と看護の概要を理解する 3.医療観察法病棟での治療プログラムの概要を理解する	1-①医療観察法の目的、指定入院・指定入院のしくみを理解する ②医療観察法に基づく医療の概要を理解する 2-①医療観察法病棟の対象者の特徴、入院に至るしくみを理解する ②医療観察法病棟の多職種チームによる医療と看護師の役割を理解する 3-①治療プログラムの進め方、内容を理解する ②治療プログラムにおける看護師の役割を理解する
	認知症	7月27日(金)	2H	1.当院の主な認知症の病態生理、診断を理解する 2.認知症の薬物療法とその看護について理解する 3.認知症高齢者への看護の関わりを理解する	1.アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症の病態生理、診断を理解する 2.認知症高齢者の薬物療法看護を理解する 3-①高齢者の特徴を踏まえ、BPSDを呈する患者の心理的特徴を理解する ②認知症高齢者への尊厳を保つ関わりを理解する
	重症心身障害	10月5日(金)	2H	1.国立病院機構の重症心身障害児者医療の歴史を踏まえ、重症心身障害児者医療における看護師の役割を理解する 2.当院重症心身障害児者病棟に入院している患者の障害と医療を理解する 3.強度行動障害の発生要因を踏まえ、強度行動障害をもつ患者の看護を理解する	1-①.国立病院機構の重症心身障害児者医療の歴史を知る ②重症心身障害児者のチーム医療と看護師の役割 2.当院入院している動く重心の医療を理解する 3.強度行動障害をもつ対象の特徴を理解し、強度行動障害の発生要因を踏まえた看護の関わりを理解する